

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0299
施設名	西久保保育園
施設所在地	武蔵野市西久保2-18-6
法人名	社会福祉法人武蔵野緑会

### 1. 活動のテーマ

<テーマ> 水

水・氷・ミスト・雪など、形を持たない水の様々な状態に触れて、その性質や変化を体感したり、色水の混色などを試しながら、身近な水の性質について探究した。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
日常から水に触れることが好きで、身近にある水に改めて注目し、見た目や状態の変化に疑問を感じたり、自ら気付く事で興味関心を持てるようにする。

### 2. 活動スケジュール

期間：令和7年7月から令和8年2月まで  
氷や水に触れ感触を味わう。(感触の違いや変化を感じる、溶け方などを観察する)(7、8月)  
ミスト体験 (感触や涼しさを感じる)(9月)  
雪あそび (感触や形や硬さなどの変化を感じる)(2月)

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

<素材・道具>

ミスト発生器、冷蔵庫、ひしゃく、たらい、バケツ、ままごと用お椀、プリン容器、水遊び用遊具、ペットボトル、絵の具、ビニール手袋、ビニール袋など。

<環境設定>

4~5人のグループをつくり、少人数で関わりを楽しめるようにした。

一人一人の探究を尊重し、見守る姿勢や共感する言葉がけを心がけた。

一人一人がじっくり楽しめるよう、個々に用具やおもちゃを準備したり安全な環境(園庭、バルコニー、グループ用のテーブル等)を確保して実施した。

### 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

(水や氷、ミストに触れる) 水や氷、ミストに触れる事で感触や温度、状態や色の変化を感じる事を楽しんだ。様々な用具や遊具を使用して、水や氷、ミストに親しんだ。

氷遊びでは、夏の暑い時期に冷たい氷に触れる冷たさや心地よさ、氷の硬さ、あっという間に溶ける様子を見たり感じて楽しんだ。

(色水をつくって遊ぶ) 透明な水に絵の具を加える事で色を加え色が変化する体験をした。絵の具を使用して色を混ぜ合わせ変化を楽しんだ。

冬には雪あそびや氷を作って遊ぶなど、自然の中の“水”にも変化があることに興味を感じ、遊びに使って楽しむ姿が見られた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

○水に触れる事で温度を感じたり、感触を楽しんだり、タライの外に流して水の行方をじっと眺めたり、その子なりの対象に興味を向けていた。水に浮かぶアヒルや魚の遊具・カップやひしゃく等を使ってたっぷり遊んだ。

○色水遊びでは絵の具を使用し色を組み合わせた事で自分なりのイメージの色を作ろうとする様子が見られた。「ピンクはあかとしろだよ!」「いろいろまぜるとちゃいろになるんだよ!」と取り組身の中で友達に伝えたり教えてもらう姿や、友達と一緒にジュースに見立ててごっこ遊びを楽しむ姿が見られた。

○夏の暑さの中なので、氷に触れると触れると「冷たい」「気持ちいい」と心地よい感触を楽しんだり、入れる容器や袋の形によって様々な形に水が氷ることに驚いていた。

○発生器から噴き出したミストを見て、「しろいねえ。」「みずのけむりみたい。」「すずしくなった!」「さわってもあんまりぬれない!」「これもおみずなの?」など水への興味を様々な表現で伝えていた。

○冬に雪が積もり、タライに入れてお部屋でかき氷をつくったり、園庭や公園で雪玉や雪だるまを作ったり楽しんでる中で、力を入れて両手で固めると固まり、指先でつまむとぱらぱらと崩れるなど、同じように冷たくても硬い氷とは感触などがちがうことを伝え合っていた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- いつも身近に接している“水”に注目する事で、日常の遊びの中でも興味が拡がり、身近な素材をテーマにする意味を感じた。
- ミストを見たり触れて、自分の感じた莉発見したことを、一人ひとりがその子らしい表現でつたえていることに気付く事が出来た。
- 氷遊びは、入れる容器や袋によって、形のない水が様々な形に固まる様子や、それらが解けていく様子など、感触とともに変化を実感した言葉をたくさん聞いた。
- “水”というテーマで様々な遊びに取り組んだ事で、偶然降りだして積もった雪も「水」からできているというつながりを見つけ、自然の変化にも興味を広げていた。
- 子ども一人一人が自分で選んで使える素材や遊具を用意する事や、安全に楽しめるスペースやじっくり関われる少人数のグループを保障することで、自分の興味に応じた方法で十分に楽しむことができ、探究意欲に繋がる事から、環境を整える大切さを実感した。
- 通常の保育では保育者が子ども達に説明したり教える事も多いが、子ども達の反応を待つ事で新たな姿に気付けるのだと感じた。
- 今回のテーマが“水”という身近な素材だったこともあって、子ども達の表現がとても多様で、保育者が見たり聞いたりして楽しいものとなった。
- 子どもの反応をゆったりと待つ事で、子どものありのままの反応を受けとめることが出来た。